

豊かで 住みよい 町づくり

上 勝

Vol.

102

議会だより

2026. 8. 1 発行



- 2P 第2回定例議会・補正予算
- 3P 主な質疑・討論
- 4P 審議案件と議決結果
- 5P 一般質問 5名が町政について質問
- 10P 炭素化装置実証実験視察
- 11P 総務常任委員会 学校訪問
- 12P まちのようす

撮影：前田議員

令和8年6月定例議会 補正予算の主な内訳

第2回
定例会

専決第2号 令和7年度 一般会計補正予算 (補正第6号)

補正額 (減額) **1億 925万円**
総額 **38億8,150万円**

閉会 開会 会期
令和8年6月19日 令和8年6月12日

主な
もの

- 総務 地方創生推進事業費
徳島わくわく移住支援費補助金 △420万円
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業費
物価高騰対策お食事券発行事業補助金 △300万円
- 民生 障害者福祉費 援助費 △500万円
災害救助費 援助費 △503万円

専決第3号 令和7年度 国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算 (補正第5号)

補正額 (減額) **3,183万円**
総額 **1億9,911万円**

主な
もの

- 療養給付費 △2,200万円
高額療養費負担金 △700万円

令和8年度 一般会計補正予算 (補正第1号)

補正額 (追加) **1億7,962万円** 総額 **37億9,962万円**

- 総務 一般管理費 財政調整基金積立金 1億3,900万円
光ケーブル強靱化対策事業 工事請負費 222万円
消防 非常備消防費 中学校体育館音響整備工事 工事請負費 165万円
小型動力ポンプ備品購入費 528万円

令和8年度 国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額 (追加) **1,458万円** 総額 **2億2,669万円**

- 主なもの ・ 予備 予備費 1,493万円

令和8年度 介護保険特別会計補正予算(補正第1号)

補正額
(追加)

5,221万円

総額

3億7,703万円

- 主なもの
- ・総務 一般管理費 国庫支出金精算返還金 …… 1,412万円
- ・基金積立 基金積立金費 介護給付費準備基金積立金 … 1,410万円

令和8年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)

補正額
(追加)

128万円

総額

5,092万円

- 主なもの
- ・後期 後期高齢者医療広域連合納付金 保険料等負担金 … 109万円
- ・諸支 保険料還付金 過誤納還付金 …… 4万円

主な質疑・討論

上勝町議会 第2回定例会

専決処分の承認を求めることについて(専決第2号令和7年度上勝町一般会計補正予算(補正第6号)について)

問 平原議員

障害者自立支援給付費国庫負担金と併せて、障害者自立支援給付費県補助金で減額となっているが、利用者数の減少によるのか、また、支援内容等に影響はなかったか。

答 三原住民課長

障害者自立支援給付費は、障害福祉サービスの実績に伴い、実績額が減ったため減額している。
サービスについては、それぞれ必要なサービスを十分受けている。

議案第32号 令和8年度上勝町一般会計補正予算(補正第1号)について

問 岡本議員

①ポンプ整備事業について、ポンプ、ホースそれぞれ、どの分団か。

- ②上勝町防犯カメラ補助事業の内容は。
- ③体育館音響整備事業の説明を。事業費が170万円ほどプラスだが、理由は。
- ④記念碑補助金27万円は何の記念碑か。

答 久保総務課長

ホースは、旭5本、福原5本、傍示6本、藤川3本、福川3本の計22本である。ポンプは福原、生実各1台ずつである。

防犯カメラに関しては、補助対象者は、構成員が3名以上の地域防犯組織等である。補助率は100%で、事業費上限は50万円である。カメラの仕様は、優良防犯機器認定制度に適合しているもの等、条件がいろいろある。

音響整備については、体育館を指定避難所に指定しているため、総務課において、防犯関係の補助金を使い165万円を計上している。

答 佐々木産業課長

(株)いづりの前社長、故横石知二氏の功績を称えるための石碑で、事業費118万円であった。補助率30%の上限で、各部会との調整で27万円を計上した。

問 岡本議員

今回のポンプ交換は、修理ができないための交換か。

答 久保総務課長

修理で対応できた分は修理している。今回の2台は、年数が古く、交換する部品もなく、修理不能であったため購入するものである。

問 岡本議員

月ヶ谷温泉に関して、7月1日より、入浴料等が上がるように聞いたが、分かっていれば教えてほしい。

答 佐々木産業課長

月ヶ谷温泉の施設使用料については、正式な金額は提示されていないので、現在のところわからない。

問 平原議員

本庁の自動ドア修繕とコミュニケーションセンターの自動ドア修繕費について両建物で、ほかにも修繕の対象となる箇所はないのか。

答 久保総務課長

ほかの設備については詳しく点検し結果に応じて対応する。可能な範囲についてはその都度修繕をしている。

令和8年

第2回上勝町議会定例会 審議案件と議決結果

(第3日) 令和8年6月19日(金)

○:賛成 ×:反対 一:議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質 疑	討 論	結 果	片 山 政 紀	新 田 勝 憲	平 原 美 和	関 康 昭	前 田 敏 宏	日 下 一 茂	岡 本 明	高 石 雅 弘
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号 令和7年度上勝町一般会計補正予算(補正第6号)について)	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号 令和7年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第5号)について)	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号 上勝町税条例の一部を改正する条例について)	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号 上勝町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	上勝町月ヶ谷温泉交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号	令和8年度上勝町一般会計補正予算(補正第1号)について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号	令和8年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	令和8年度上勝町介護保険特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	令和8年度上勝町後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	上勝町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号	上勝町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	上勝町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第40号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第43号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第45号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第46号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第47号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第48号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	退席	○	○	○	—
議案第49号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第50号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第51号	上勝町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第52号	令和7年度上勝町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	無		報告								—
報告第53号	株式会社かみかついっきゅうの経営状況について	無		報告								—
報告第54号	株式会社上勝パイオの経営状況について	無		報告								—
報告第55号	株式会社もくさんの経営状況について	無		報告								—
報告第56号	株式会社いづりの経営状況について	無		報告								—
報告第57号	一般社団法人かみかつ森林環境公社の経営状況について	無		報告								—
報告第58号	一般社団法人かつうら国土と未来振興協会の経営状況について	無		報告								—
—	委員会の閉会中の継続調査について			承認	○	○	○	○	○	○	○	—
—	寄附の申し立てについて			報告								—



新田 勝憲 議員

問 町内建設業者の維持について

建設課長

公共事業予算確保が維持・育成に繋がる

町内建設業者の維持について

問 町内建設業者は、道路維持管理、災害時の応急復旧、除草、除雪など、地域住民の安全安心を支える重要な役割を担っており、一方で、人口減少や高齢化、担い手不足により経営環境は厳しさを増している。町は、地域を守る建設業者の維持・育成をどのように考えているか。

答 笹尾建設課長

建設業者が町内のインフラ整備を担っていることは、承知している。現状として、町内建設業者数は7社だが、経営が厳しく、廃業を検討している業者の相談や、数年後には、廃業の話もきこえてくる。上勝町の最上位計画である第4次上勝町活性化振興計画では、土木建設業の振興として、国、県と連携し、公共事業予算の確保に努めるとともに、多種業種への転換等事業継続の支援に努める。公共工事の予算確保が維持、育成に繋がると考えている。

公共工事発注の考え方について

問 町が発注する公共工事について、災害対応能力の維持や地域経済循環の観点から、町内事業者の育成をどのように考えているか。

答 笹尾建設課長

一般土木工事、一般的な建築工事などの発注については、町内建設業者に発注を行っている。また、特殊な資格が必要な事業については、資格のある業者への発注となるため、県内、県外の業者になる場合もある。基本的には町内業者への発注を行いながら、地域経済の循環などに努めている。

災害協力体制について

問 近年、自然災害が頻発している。災害発生時に迅速な対応を可能にするため、町内建設業者との連携体制をさらに強化する考えはあるか。

答 笹尾建設課長

第3期上勝町地域創生総合戦略において、建設業協会と連携し、大雪、台風等災害に備えること掲げており、現在も上勝町建設業協会と連携し、災害時等の協力体制は取れている。

建設業の将来像について

問 地域インフラを守る建設業者が減少した場合、道路管理や災害対応に大きな影響が生じる。町として、10年後、20年後を見据えた建設業維持策をどのように考えているか。

答 笹尾建設課長

廃業を検討している業者もあることから、今後、建設業者が減少する可能性は十分ある。そうした中で、建設業維持策として、国、県と連携し、予算確保に努めることが建設業の維持につながることを考える。

今後は、人口減少に伴う作業員の確保にも影響が生じると思われるため、国、県と連携し、安定的

な公共事業予算の確保に努める。

林政アドバイザーの雇用について

問 本町は、森林資源に恵まれ、林業は本町の重要な産業のひとつである。しかし、林業を取り巻く環境は、担い手不足、高齢化、森林整備等への対応など、多くの課題を抱えている。近年、林業に関わりの深い市町村では、専門的知識や経験を持つ「林政アドバイザー」を雇用し、森林整備計画の策定支援や補助事業の活用、林業振興施策の助言などを受け、担当課の業務支援につなげている事例がある。

答 佐々木産業課長

神山町をはじめ、専門的知識を持つ外部人材を登用し、林業振興に成果を上げている自治体もあることは承知している。森林経営管理制度の運用

や森林環境譲与税を活用した事業の展開や林務行政において専門的な知見や経験が求められる場面が増加しているのは事実であり、そうした専門人材の確保は大きな戦力になると認識している。本町においては、地域の林業事情に精通している皆様と緊密に連携し、専門的な助言をいただきながら、産業課の職員が実務に当たっている。組織内における前任者から現担当者へ技術の継承が順調に進んでおり、職員の育成も着実に図られていることから、林政アドバイザーを雇用する予定はない。

※その他
・若手人材確保の支援について質問した。

問 町道の草刈りを住民が行なった時の補助は

建設課長

補助は難しい



日下一茂 議員

町道の草刈りに
ついて

問 町道の草刈りはどのようになっているのか。

答 笹尾建設課長

町道の草刈りは道路利用者の安全な通行を確保するため、職員による道路パトロールや地域からの情報提供などにより、現地状況を確認しながら、基本的には一級町道の草刈りを主に行っている。町が管理する町道は路線数が多く、全ての路線において常に良好な状態を維持することは難しい。



町道（藤川杉谷線）

が修路工が順次、草刈りを行なっている。

ただ、地域によっては高齢化や戸数の減少により、一級町道でない路線も修路工が草刈りを行なっている所もある。

問 修路工が刈れない町道の草刈りを町民がした場合の補助は。

答 笹尾建設課長

町道の草刈りを住民が実施しても補助制度は設けていない。個人によって草刈りの仕方等も違うので、町の支払い基準が難しく、管理ができないため補助は難しい。

要望 数多い町道だが、できるだけ多く除草を願う。

避難場所について

問 避難場所の開設はどのタイミングでするのか。

答 久保総務課長

指定緊急避難場所は食料や毛布等は各自持参することになっている。テレビ、WiFi、調理室は使用可能である。

問 避難場所開設時は、どのようなものが利用できるのか。

答 久保総務課長

上勝町地域防災計画により、災害により被災者を収容する必要がある時は、災害の態様に応じ、安全かつ適切な避難場所を選定し開設する。



避難場所

傍示消防詰所に
ついて

問 傍示消防詰所の完成は年度末の予定ではなかったのか。

答 久保総務課長

担当者も工事の進捗状況に遅れがあることを確認しており、年度内の完成が難しい場合には、当然3月定例議会で繰越しの承認を得る必要がある。そのため、施工業者に対して確認をとったが、全ての時点で年度内に完成できるとの回答を得たので町は令和7年度末の完成を予定していた。

問 完成が遅れたのは契約違反ではないのか。

答 久保総務課長

専決処分により手続を行い、工期の変更契約を行っている。契約違反には該当しないと考えている。



傍示消防詰所

問 町の仕事は延長可能と思われるのは今後、困るのではないのか。

答 久保総務課長

一定の理由によって工期を延ばすのが当然だと考えている。

答 花本町長

不適切な工事をやるのかやみくもに工期を延長するとか、そういった場合は当然罰則があり、指命停止というようなものを審査委員会を設けてやることになっている。該当しない限り、町内業者を優先して育成していきたい。



片山 政紀 議員

問 休止していたドクターヘリの運航が再開しているが、現在の状況について

住民課長 6月8日からスポット運航が開始されており、8月10日まで運航の予定

ドクターヘリ運航再開以降の現状について

問 今年の4月以降、運航を休止していた本県のドクターヘリが、6月8日から一時的に運航を再開している。山間部の本町にとってドクターヘリは、非常に重要だと思うが、再開以降の現状はどうなっているか。

答 三原住民課長

関西広域連合が徳島県に基地局を置いて運航していたドクターヘリについては、4月1日より運航を休止していたが、6月8日から静岡エアコミュニティによるスポット運航が開始されている。なお、当初の予定では静岡エアコミュニティによる運航は7月末日までの予定だったが、徳島県の交渉により、8月10日まで運航することになっている。

問 8月10日以降は、以前の運休中のような状態になるのか。

答 三原住民課長

現在のところ、静岡エアコミュニティによるスポット運航は8月10日までの予定になっており、それ以降については、香川、高知、和歌山の近隣県とのドクターヘリ相互応援協定に基づくカバ体制及び消防防災ヘリのドクターヘリの運用、またドクターカーの活用等による救急体制となる。

なお、徳島県においては、今後も引き続き全国の運航会社に対し、徳島県ドクターヘリの運航についての交渉を続けていくと伺っている。

台風6号での被災状況について

問 先日の台風6号、凄じい降水量だったため、県内でも床上浸水等が多発していたが、本町での台風の影響による被災状況はどうだったか。

答 笹尾建設課長

今回の台風6号では、進路により風による被害はあまりなかったが、降水量では400ミリを超え、6月の平均値を上回るものとなった。その中で、本町の被災状況としては、国の補助を受けられる災害復旧事業に該当する被災としては、公共土木災害（町道・河川）が2件、耕地災害（農地・農業用施設）が5件、林道災害が1件の合計8件だった。

え、6月の平均値を上回るものとなった。その中で、本町の被災状況としては、国の補助を受けられる災害復旧事業に該当する被災としては、公共土木災害（町道・河川）が2件、耕地災害（農地・農業用施設）が5件、林道災害が1件の合計8件だった。

問 台風6号のときに、消防団の出動もあったようだ。人的被害の有無については、どうだったか。

答 久保総務課長

福原地区において、住居家屋の裏山が崩壊し、土砂の一部が家屋内に流れ込んだ災害が1件発生したが、人的被害はなかった。土量については、2立米から3立米程度だったが、裏山と家の間が1mから1.5mと非常に狭く、機械が入るスペースもなく、被災者は高齢のご夫婦だったため、翌日の6月4日に消防団13名が出動し、人力による土砂の撤去を行っている。

FUTURE BEER GARDENについて

問 5月に東京で開催されたが、来場者数はどれくらいだったのか。また上勝町の特産品のPRについて、しっかりとアピールはできたのか。

答 清田企画環境課長

2日間で1万14人の方々が来場され、目標としていた1万人を達成し、盛況にイベントを開催することができた。

上勝町の特産品のPRについては、町商工会担当者や生産者が現地につき、直接お客様に商品説明、販売をした商品もあり、売れ行きは好調で、売れた商品も多数あった。物販ブースの横には特大パネルを設置し、特産品をはじめ、上勝町の取組もPRできた。

問 ゼロ・ウェイストタウン発信イベントとして上勝町のごみを減らす取組も、しっかりと来場した方に発信できたか。

答 清田企画環境課長

特設ゴミステーションを会場内に設置し、来場者に分別をしてもらった。また、分別された素材の行き先とリサイクルされた製品を展示し、実物とストーリーで上勝町のゼロ・ウェイストの取組を感じてもらえた。

紙おむつ炭素化装置の実証実験について

問 実証実験を進める過程で新たに改良の余地や課題は発生しているか。

答 清田企画環境課長

先般、環境省が実施する使用済み紙おむつの再生利用に関する自治体伴走事業に採択され、実施中の実証実験以外にも、医療機関や老健施設での紙おむつのリサイクルに関する課題の調査、検証業務などにも着手する予定である。



問 補聴器購入助成制度の創設を



平原美和 議員

住民課長

近隣自治体を調査し、検討する

住み慣れた地域で暮らし続けられる町に

問 年を重ねても上勝町で暮らし続けるための課題と必要な支援とはなにか。

答 三原住民課長

交通や買い物、自立生活を支える体制整備に加え、地域包括支援センターを中心に地域全体で支えあう仕組みづくりを進める。

問 聞こえは、人との会話や地域とのつながりを支える大切な役目を果たすが、本町では聴覚障害による補聴器購入への支援制度はあるか。

答 三原住民課長

身体障害者手帳保持の場合、国の指針に基づき助成している。一般的な費用として、5万8074円の購入費用のうち自己負担は、生活保護・非課税世帯では0円、課税世帯では3万7200円。

問 車を持たない・免許返納者などへ交付の有償ボランティアタクシー助成券の使用実績は。

答 三原住民課長

令和7年度は55人に交付し、平均利用額は1万2600円で、利用にはばらつきがある。

問 ボランティアタクシー制度を更に拡充する考えは。

答 花本町長

制度の見直しを重ね利用しやすくしてきたので、助成額の引き上げは考えていない。

子どもたちにどのような教育環境を保障するのか

問 本町が目指す子どもの育成と教育環境の充実とは。

答 立川教育長

確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を基本に、自ら考え行動し、他者を尊重できる子どもの育成を目指し、保・小・中が連携した教育環境の充実に取り組む。

問 南アルプス子どもの村学園との交流を踏まえ、本町との教育の特色や違いをどう認識しているか。また、本町の教育にどう生かすのか。

答 立川教育長

学習指導要領に基づく教育を行う中で、ゼロ・ウェイスト学習や地域を生かした体験学習など上勝ならではの教育を充実させる。

問 教育環境の充実とともに安心して子育てできる環境の充実が重要。教材・学用品費等の負担軽減を。

答 高橋教育委員会事務局長 兼 支所長

就学援助や修学旅行補助、各種検定補助など町独自支援を行っており、新たな軽減策は考えていない。

問 県内24自治体のうち2/3で小中学校どちらも給食への補助がはじまった。給食費の保護者負担をどのように考えているのか。

答 花本町長

就学援助等が支給され十分配慮されている。値上げをせず、原材料費やガス代等を町で負担し一部補助となっている。全額補助はない。

2040年人口1000人の実現に向けて

問 この目標達成に向けた移住目標値は。

答 清田企画環境課長

人口1000人達成には年間60人の転入者が必要で、通常想定転入者45人あるため、残り15人を移住対策施策の目標とし、移住相談100人、お試し暮らし50人を目標に取り組む。

問 東京でのPRイベントでの成果は。

答 清田企画環境課長

319人にアンケート実施し、LINE登録や移住相談につなげ、関係人口創出に取り組んだ。アンケートの7割が地方移住に関心があった。

問 昨年度もアンケートの実施あり、回答者へHOTEL WYの宿泊割引が付与されていたがその利用件数は。

答 清田企画環境課長

アンケートに回答した200名のうち利用者はなかった。

問 関係人口に寄与する農業体験や移住体験の希望に対応可能な宿泊施設が不足している。短期滞在施設についてどのように考えているのか。

答 清田企画環境課長

不足の実態は認識している。施設整備については、まずは移住者向けを進めていく予定。受け入れ事業者が整備を進めることも一つの手段である。

問 農家等事業者が受け入れ施設整備に対する補助はあるのか。

答 清田企画環境課長

予算措置はない。今後検討する。



岡本 明 議員

問 樹木が大きくなり、 通行の妨げになっている

建設課長 民有地内に生育しているため、所有者が対応を

町道元山槻地線の 樹木について

問 慈眼寺までの道中と、それから佐那河内村へ向かう道中の周囲の木が大きくなり、大型バスの走行にも支障が出始めている。慈眼寺までの草刈と掃除はきれいにしているが、広葉樹の枝が待避所まで出てきて、対向できない状態の所もある。早急な対応をお願いできないか。

答 笹尾建設課長

現地確認はしているが、指摘の樹木はいずれも民有地内に生育しているものであり、道路管理者である町は、所有者の同意なく伐採を行う事ができないため、所有者に対応をしていただきたい。

ボランティア タクシーについて

問 タクシーチケットの交付を早め、4月1日から使用できるようにならないか。

答 三原住民課長

タクシーチケットの交付については、申請を受け付けてから支給要件の確認等のため、交付まで1週間程度要している。3月中に申請のあった方については、4月1日に交付できるよう、迅速な事務処理に努めたい。

町内の案内看板 について

問 イターンや遊ぶ広報などで来町者が多くなっている。全てが町の物とは言えないが、案内看板が見えなくなっている所が多数見受けられる。一度、町の方で整理をし、新しく看板を設置していただけないか。

答 佐々木産業課長

町内の案内看板については、町が設置したもの、地域や個人で設置されたものが混在している状況である。町が管理している看板の作り直しについては、可能である。本町は「日本で最も美しい村連合」に加盟しており、美しい景観を維持するため

にも、デザインを統一し、視認性や多様性を配慮した、ユニバーサルデザインを基本として進めていきたい。今後、各地域から改修等の具体的な要望があれば、予算の範囲内で速やかに対応したい。

また、新規の設置等については、土地の利用承諾、周辺住民の合意など、事前調整が不可欠となるため、魅力ある景観づくりと、分かりやすい案内環境の整備に向けて、連携をとりながら取り組んでいきたい。

県道16号線について

問 1・5車線化の改良工事が遅れているように見受けられる。その中、市宇早川様宅下のすだち畑から、改良工事が完了している間の設計図面ができていないと聞いた。

以前から地元住民は、工事に変な協力的で、いつで上がるのかと待っている状況。図面ができていない以上、工事も進まない。早急に設計図面を作成すべきではないのか。

答 笹尾建設課長

事業を進めている当該工区は、全体延長が長く、限られた予算の中で区間を分け、事業を進めている。設計が完了している区間の工事を優先的に進めていきながら、今後の予算状況を基に検討していきたい。

問 あと少しの状況で進められていなかったり、予算がついていない部分があったり、先に延ばされたのでは、工事が遅れる一つの要因になっているのではないか。再度県にお願いするか、または、町長からも県議や県に要望してもらえないか。

答 花本町長

6月23日に、県の担当者から来町し、意見交換会をする予定があるので、要望しておく。

要望 通る方が少なくなつてからでは遅い。早期の完成を要望してもらいたい。

答 笹尾建設課長

県の担当者から、状況を改善すべく、具体的に検討を進めていると回答があった。

※その他

- ・月ヶ谷温泉の累積赤字の金額、経営コンサルタント導入の経緯と費用について
- ・総合運動公園について
- ・操法の練習場についての質問をした。



使用済み紙おむつの炭素化装置の 実証実験視察について

5月22日、ゴミステーションにおいて使用済み紙おむつの炭素化装置の実証実験の視察を議会広報調査特別委員会で行った。参加者は役場より、花本町長、企画環境課の清田課長、栗林主事、議会より議員全員と石木議会事務局長であった。



本実証実験では住民参加型として、町民の皆様の協力のもと使用済み紙おむつの分別回収が進められている。

実証実験において、「他自治体で導入している実証実験機と比較し、最大処理量の増加や、処理時間の短縮に向けた検証を行っている。」との説明を受けた。

炭素化装置の特長としては大幅な減容化にとどまらず、生成された半炭化物は燃料としての循環利用によるリサイクル率アップも見込まれる。

本実証実験は、使用済み紙おむつ等の衛生用品を資源として活用する新たな循環型社会モデルの構築を目指すものである。上勝町における住民参加型の取組は先進的であり、今後の成果が全国の自治体における廃棄物施策へ波及することが期待される。

総務常任委員会 学校訪問実施

1 日 程

令和8年7月6日(月)

2 行 程

上勝中学校 上勝小学校 学校給食調理場
上勝小学校給食試食

3 訪 問 者

議会総務常任委員会

委員長 平原美和

副委員長 新田勝憲

委員 岡本 明

委員 前田敏宏

議会（オブザーバー）

議長 高石雅弘

議会事務局（随行）

事務局長 石木由雄

教育委員会

教育長 立川信彦

事務局長 高橋暁美

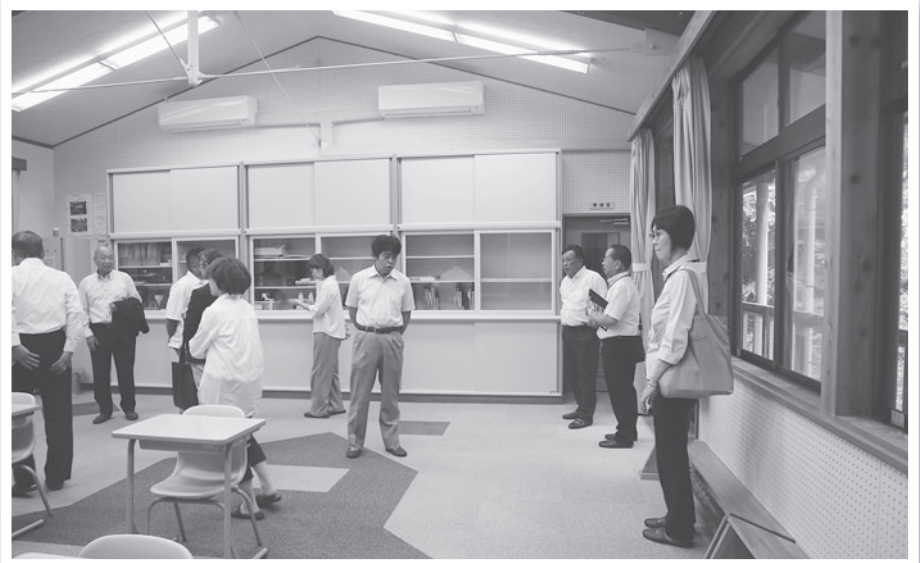
他 教育委員3名 民生委員1名 と一緒に訪問



上勝中学校 全校15名

■本年度の取組

1. 生活リズムの整った環境づくり
2. 自分の考えをわかりやすく伝える学習活動
3. GIGAスクール
4. 生徒主体の活動の推進
5. 相談しやすい雰囲気づくり



上勝小学校 全校43名

■本年度の重点目標

- ・確かな学力を育てる
- ・豊かな心を育てる
- ・健やかな体を育てる
- ・ふるさと教育



操法大会練習風景(福川)



勝浦川鮎の放流(福原)



勝浦川鮎の解禁日(生実)



操法大会練習風景(福川)



彩公園出役風景(藤川)



アジサイの花(生実)

編集後記

暑中御見舞申し上げます。

猛暑の中、今年も各地で茶摘みが行われ、先人から受け継がれてきた阿波晩茶の仕上がりが待ち望まれる季節となりました。

暑さ対策を十分に備えて、水分補給や休息を心がけてご自愛ください。

地域の暮らしに関わる課題について議論を重ねています。議会だよりが町政や議会活動を身近に感じていただくきっかけとなれば幸いです。

(平原)



山犬嶽